


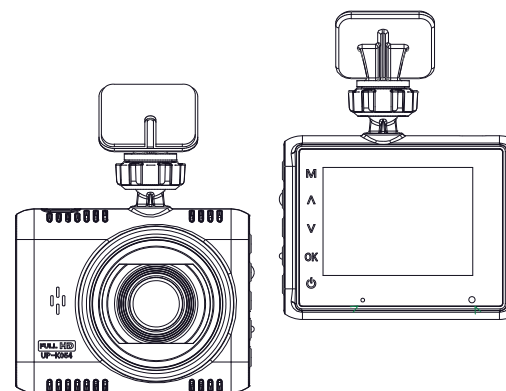
KEIYO 

ドライブレコーダー

取扱説明書

UP-K054

KEIYO



20240221

ドライブレコーダーをご購入いただき、
ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に“安全上のご注意”(P.4~7)“使用上のご注意”(P.8~13)
はご使用前に必ずご一読ください。

製品の仕様(外観、付属品、ビューア画面等)は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

CONTENTS

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
製品の特長	14
製品の構成	15
各部名称	16
車両への設置	18
microSDカードの挿入、取り出し方法	21
microSDカードフォーマット	22
操作方法	24
設定	30
LED表示	34
録画方式	35
録画可能容量について	38
ファイル構成とタイムギャップ	39
microSDカード内の構成	40
専用ビューア	42
製品仕様	52
保証書	54

安全上のご注意

- ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項または、警告事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。記載されている注意、警告事項は危険な状況をすべて網羅しているわけではありません。使用に際しては十分に注意してください。
- 取扱説明書は保証書と一緒にお使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

取り付け、配線について

⚠ 警告

- ⊘ **DC12V・24V マイナスアース車以外で使用しない**
DC12V マイナスアース車以外で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- **エアバッグシステムの動作を妨げる位置には絶対に取り付け、配線をしない**
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグの衝撃で製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
- **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**
運転操作を妨げる場所：ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルの近くなど。
交通事故やけがの原因となります。
- **取り付けやアース配線に保安部品を使わない**
保安部品：ステアリング、ブレーキ系統、燃料タンクなどのボルトやナット類など。
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告

- ⊘ **車両メーカーが指定する禁止エリアに取り付けや配線をしない**
カメラやセンサーなどの車両装置の動作を妨げる恐れがあり、交通事故の原因となります。禁止エリアは車両メーカーにお問い合わせください。
- ⚠ **取り付け、配線は安全のため専門業者に依頼する**
取り付け、配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの専門業者にご相談ください。
- **配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外す**
マイナス端子を外さずに作業すると、ショート事故による感電やけがの原因になります。
- **正規の接続をする**
誤った接続をすると火災や事故、故障の原因となります。
- **コード類は取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないように固定する**
ステアリングやブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- **車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に配線を挟み込まない**
断線やショートにより火災や故障、感電の原因となります。
- **コード類の配線は高温部を避けて行う**
コードの被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。

⚠ 注意

- ⊘ **水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所には取り付けない**
水や油煙などが入ると発煙や火災、故障の原因となります。
- **振動の多い場所や不安定な場所には取り付けない**
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
- ⚠ **付属の電源ケーブルを使用する**
付属品以外の電源ケーブルを使用すると、火災や感電の原因となります。また、電源ケーブルの改造は行わないでください。

安全上のご注意

■ スーパーキャパシタについて

スーパーキャパシタを内部電源として使用しています。外部電源が遮断された後（車の電源が切れたとき）に録画ファイルを保存する為にのみ使用されます。このカメラは外部から電源を供給しないと作動しません。

■ 内蔵電池（リチウムマンガン電池）について

本製品は時計のバックアップをするためのリチウム二次電池を内蔵しています。購入直後はバッテリーが十分に充電されていないので、時刻がリセットされる時は本製品の電源を1～2時間オンにして充電してください。

⚠ 危険

- ❌ 内蔵電池を分解したり、改造しない
- ❌ 本体以外で充電しない
- ❌ 加熱したり、火の中にいれない
- ❌ 火のそばやストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下など、高温の場所で使用したり、充電、放置しない
- ❌ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。
- ❗ 電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける
目に障害を与える原因になります。

⚠ 警告

- ❗ 所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめる
- ❌ 電池が液漏れしたり、異臭、変色、変形したときは使用しない

安全上のご注意

使用について

⚠ 警告

- ❌ 本機を分解、改造しない
火災や感電、故障、データ損失の原因となります。
分解、改造が故障の原因と認められた場合、保証は適用されません。
- ❌ 運転中に操作しない
交通事故やけがの原因となります。
必ず安全な場所へ車を停車させ、パーキングブレーキをかけた状態で操作を行ってください。
- ❌ 機器内部に水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- ❗ 故障や異常な状態のまま使用しない
万が一煙が出る、変なにおいがする、内部に異物が入った、水がかかったなどの場合はただちに使用を中止してください。そのままご使用になると事故や火災、感電の原因となります。お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスにご相談ください。
- ❌ ヒューズは必ず規定容量品を使用する
ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量品と交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると火災の原因となります。

⚠ 注意

- ❌ 本機を車載用以外には使用しない
火災や感電、故障、けがの恐れがあります。

使用上のご注意

- ほかの無線機やテレビ、テレビチューナー、ラジオ、パソコン、GPS などの近くで使用すると、影響を受けたり与えたりすることがあります。
- 本機を高温、及び低温に長期間放置しないでください。一定以上の高温下、低温下では異常な動作をすることがあります。結露のない状態でご使用ください。
- レンズは常に清潔な状態でお使いください。レンズが汚れますと画質が低下します。お手入れはレンズクロスなどで拭いてください。
- 長時間使用する場合、通風しを良くしてください。本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。
- バイザーはゆっくり下げてください。本体に接触してカメラの向きが変わる可能性があります。
- 本機の掃除やお手入れの際には、水、ワックス、その他の洗剤をかけないでください。故障や感電を引き起こす可能性があります。
- 本機で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に接触しないよう注意してご利用ください。
- 本機は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。
- 本機は日本仕様です。海外ではご使用になれません。

使用上のご注意

使用できる microSD カードについて

本書では特にことわりのない限り「microSDHC カード」、「microSDXC カード」を「microSD カード」と総称して表記しています。本機では下記の SD 規格に準拠した microSD カードに対応しています。下記以外の microSD カードは使用できません。

- **microSDHC カード**
容量：16GB ~ 32GB、スピードクラス：CLASS10 以上
- **microSDXC カード**
容量：64GB ~ 128GB スピードクラス：CLASS10 以上

※microSD カードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行ってください。

⚠ microSDカードの注意事項

- 本機でお使いいただく microSD カードは、本機専用としてお使いください。
- 本機で使用中の microSD カードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができない場合があります。
- 他の機器で使用した microSD カードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。
- microSD カードは分解、改造、その他加工はしないでください。
- 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。安心してお使いいただくため、定期的にフォーマットしていただくことをお勧めします。
- 大切なデータはパソコンや他の記録メディアなどに保存（コピー）してください。
- microSD カードは消耗品です。定期的に新しい microSD カードに交換することをお勧めします。

使用上のご注意

microSD カードのフォーマットについて

本機で使用する microSD カードは専用のファイルシステムとなっており、基本的にフォーマットを行う必要はありません。正常に書き込み、読み込みができない場合や、動作が不安定な場合にフォーマットを行ってください。

microSD カードの注意事項 (⇒P.9)
フォーマット方法 (⇒P.22)

パソコンでの表示容量について

専用のファイルシステムとなっているため、使用した microSD カードをパソコンに接続した際、録画ファイル数が少なくても使用領域が多く表示されます。

表示例



録画ファイル数が少なくても使用領域が多く表示されます。

使用上のご注意

電源が入ったままの状態でも microSD カードの抜き差しを行うと録画されたファイル、または microSD カードが壊れてしまうなど、ドライブレコーダーが正常に動作しなくなる場合がありますので下記手順をお守りください。

microSD カードの抜き差し手順

<microSD カードの抜き方>

1. ドライブレコーダーの電源をオフにして、画面が消灯したことを確認します
2. ドライブレコーダーから microSD カードを取り出します。
microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜きます。

<microSD カードの挿し方>

本体の電源が切れている状態で microSD カードを挿入します。
microSD カードの向きに注意して、カチッと音がするまで挿入してください。

⚠ 注意

- ❗ 本製品は、電源が入ったままでも microSD カードを抜くと、本体が強制終了しますので、その際は再度 microSD カードを挿入し、「電源ボタン」を長押し (3 秒以上) するか、エンジンを再始動 (ACC オン) して下さい。

使用上のご注意

⚠ 注意

本体の電源が入ったままの状態、電源ケーブルまたはカメラケーブルの抜き差しを行うと、ドライブレコーダーが正常に動作しなくなる場合や、microSD カードのフォーマットを要求してくる場合があります。必ず電源が切れている状態で行ってください。

⚠ GPS信号受信の注意事項

- GPS 衛星は米国政府によって運用されている測位システムです。
- 初めてご使用になるときや長い間電源を入れていなかったときなど、内部の二次電池が充電されていない場合、GPS 衛星から信号を受信し位置を測位するまで長時間かかる場合があります。
- GPS 衛星からの信号を受信できない場所（トンネルや地下、ビル等に囲まれた場所など）では、位置情報が記録されません。
- 受信環境によって位置の測位に時間がかかる場合や、位置情報にズレが生じることがあります。
- 熱線反射タイプ、または熱線吸収タイプのフロントガラスには電波を通さないものがあり、GPS 衛星から信号を受信できない場合があります。フロントガラスの種類、電波透過性の詳細については販売店やカーディーラーにお問い合わせください。

使用上のご注意

保証範囲

- 本製品は事故などで衝撃のあった時点で録画するイベントレコーダーではありません。
- ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。録画ファイルの間にはタイムギャップ（無録画時間）が存在します。
- 録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画としてご活用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- 本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責任を負いません。
- 本製品は車の状態や車両事故などで製品が破損したり、microSD カードの問題で録画ができない場合もあり、それらにより生じる損害に対して弊社は責任を負いません。
- 車両運行前に製品の動作状態をご確認ください。

次の場合は故障ではありません

- LED の信号機やテール / ストップ / ウィンカーランプは録画した映像で点滅、または消灯したように映る場合があります。
- 動作中に再起動し、「常時録画を開始します」のアナウンスがあることがあります。
- G センサーは衝撃の方向によって検知が異なるため衝撃検知録画ファイルが生成されない場合があります。

製品の特長

高解像度前・後カメラ

200万画素 CMOS イメージセンサーを搭載し、1920×1080P で録画します。

コンパクトボディ

コンパクトなボディに 2.4 インチモニターを搭載。

ワイドダイナミックレンジ

明暗差が激しい映像でも白飛び、黒つぶれを抑えます。

録画方式

常時録画、衝撃検知録画、手動録画

音声案内機能

動作状況を音声でお知らせします。

フォーマットフリー

専用のファイルシステムを採用し、microSD カードのデータ断片化を低減します。

専用ビューア

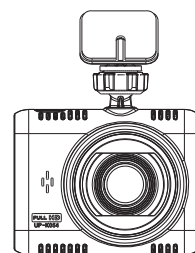
記録した位置情報や G センサーのグラフを表示して再生することができます。

リアカメラ (オプション品・別売)

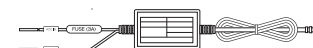
オプション設定の専用リアカメラ(200万画素CMOSセンサー)の接続が可能です。前後録画カメラシステムへ発展します。

製品の構成 (同梱品一覧)

■ 製品購入後、同梱品をご確認ください。



ドライブレコーダー本体



直接電源ケーブル (約 4.5m)

※本電源ケーブルは本機専用となります。他の機器 (スマートフォン、PC など) への接続は行わないでください。故障の原因になります。



ドライブレコーダー用
両面テープ (予備)

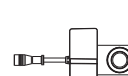


microSD カード
(16GB)
SD カードアダプター

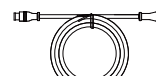


取扱説明書
(保証書付き)
本紙

■ オプション品 (別売 / UP-K054R リアカメラ)



UP-K054R
リアカメラ
(約 0.5m)



リアカメラ
接続ケーブル
(約 8.5mm)

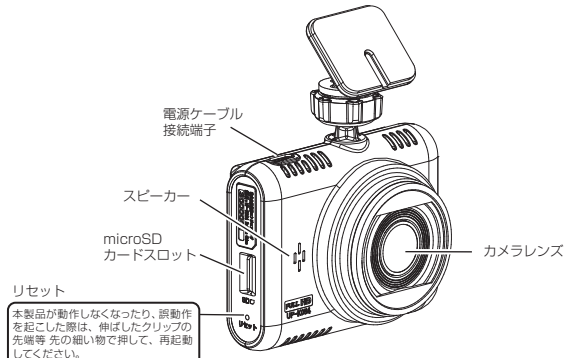


リアカメラ用
両面テープ
(予備)

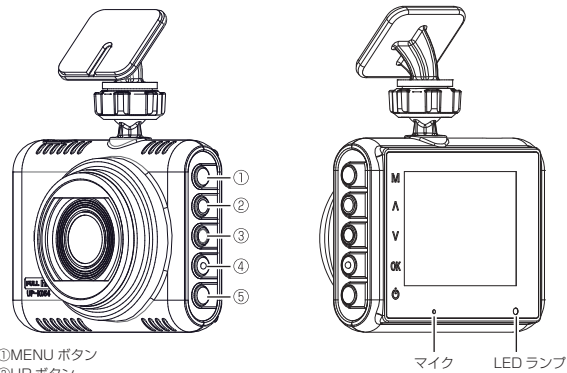


取扱説明書
(保証書付き)

各部名称



本製品が動作しなくなったり、誤動作を
起こした際は、伸ばしたクリップの
先端等先の細い物で押して、再起動
してください。



各部名称



① 録画状況を表示します。

常時録画 : ● 録画
衝撃検知 / 手動録画 : ▲ EMR
録画停止 : 停止

② 録画時間表示

③ 音声録音

オン : ● (mic icon)
オフ : ○ (mic icon)

④ GPS 信号の受信状態を表示します。

信号受信 (強) : ● (signal strength icon)
信号未受信 : ○ (signal strength icon)
受信状況により 1~4 本、緑のバーが表示され、受信が確認出来ます。

⑤ SD カードの挿入状態を表示します。

挿入時 : ● (SD icon)
未挿入時 : ○ (SD icon)

⑥ 解像度表示

⑦ フロントカメラ映像
フロントカメラの映像が表示されます。

⑧ 日時表示

車両への設置

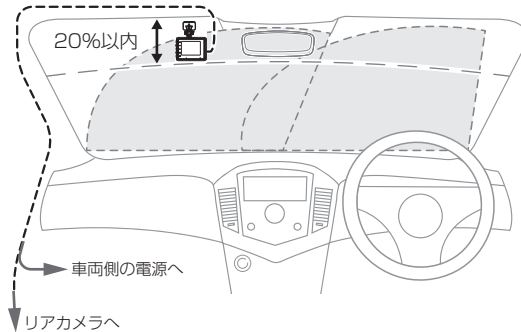
■ 取り付けの前に…

取り付け作業を行う前に「安全上のご注意」を再確認し、必ずお守りください。また、取り付け時の注意に従い作業を行ってください。

取り付け時の注意

- ドライブレコーダー本体は必ずフロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。
- ドライブレコーダー本体はワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- 視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 検査標章などを避けて取り付けてください。
- 添付の両面テープは再接着できません。ブラケットを仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。
- ケーブルは運転の妨げにならないようテープやクランプで固定するなどしてください。

■ 取り付けイメージ

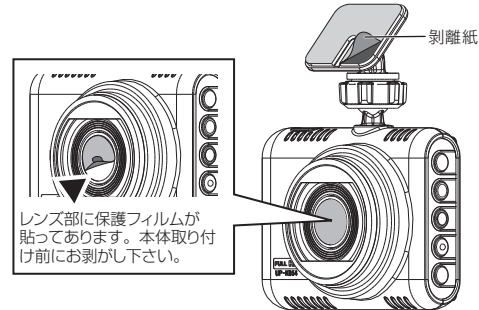


※電源ケーブルで電圧変換を行っていますので、必ず本機に付属の直接電源ケーブルをそのままお使いください。

車両への設置

■ 本体の取り付け

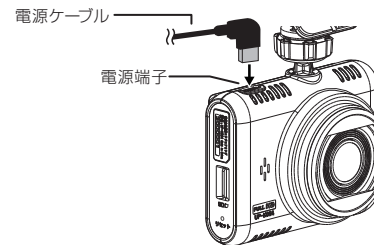
1. 取り付け時の注意に従い適切な位置を決め、フロントガラスの汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。
2. 本体の取り付け位置を決めたら両面テープの剥離紙を剥がし、ブラケットをフロントガラスにしっかりと貼り付けます。



※添付の両面テープは再接着できません。本体を仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。

■ 電源ケーブルの接続

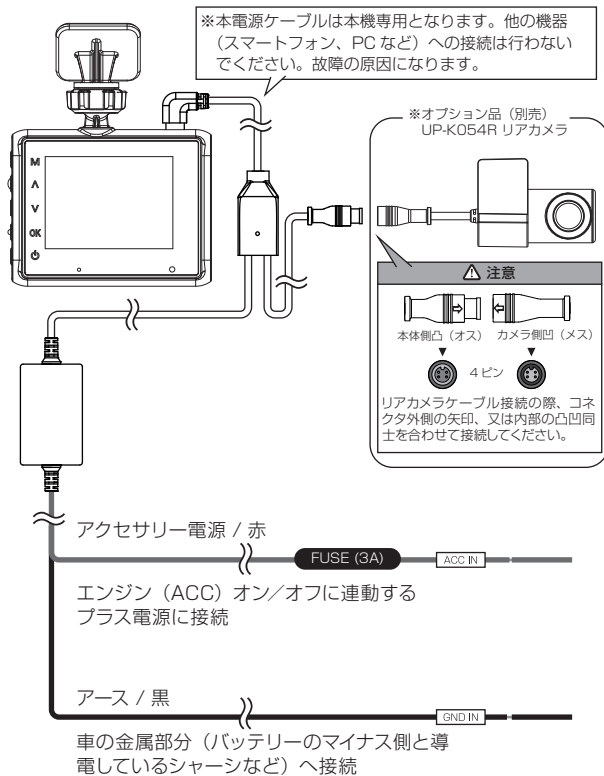
- 電源ケーブルを本体と車両へ接続します。



車両への設置

■ 接続方法

ドライブレコーダー本体、リアカメラ、電源ケーブルを接続します。



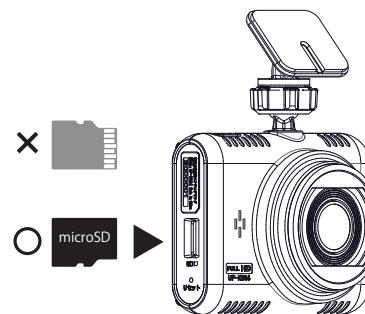
microSD カードの挿入、取り出し方法

⚠ ご注意

- ※本機で初めて使用される microSD カードは、本機でフォーマットを行ってから使用してください。(⇒P.22)
- ※microSD カードの抜き差しを行う場合は、必ず本体の電源がオフになっていることを確認してから行ってください。

● microSD カードの挿入

microSD カードは下図の向きでカチッと音がするまで挿入します。



● microSD カードの取り出し

microSD カードを取り出すときは、軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。
※ 無理な力で行うと破損の原因になります。

microSD カードの挿入、取り出し時は落下、紛失にご注意ください。また、常に microSD カードをケースに入れて持ち運びください。

microSD カードのフォーマット

microSDカードは定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうか確認してください。

※フォーマット時にはすべてのデータが削除されます。
大切なデータは必ず PC などにバックアップをしておいてください。

⚠ フォーマットは必ず本機で行ってください

※本機でお使いいただく microSD カードは、本機専用としてお使いください。

※本機で使用中の microSD カードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができなくなる場合があります。

※他の機器でを使用した microSD カードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。

※定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうか確認ください。

■ フォーマット手順

録画を「MENU」または、「OK」ボタンで停止させ、「MENU」ボタンを短押し。メニュー画面が出たら、もう一度、「MENU」ボタンを短押しし設定メニューに切り換え、「DOWN」ボタンで項目をフォーマットが出るまで短押しし、フォーマットが出たら、「OK」ボタンを短押しし、フォーマット画面で実行を選択し、「OK」ボタンでフォーマットを実行します。

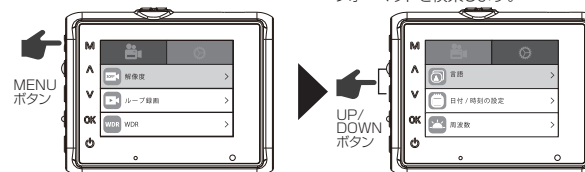
※フォーマットは途中で中止することができません。操作には充分ご注意ください。

※フォーマットが完了するまで microSD カードを抜いたり、電源をオフにしないでください。

microSD カードのフォーマット

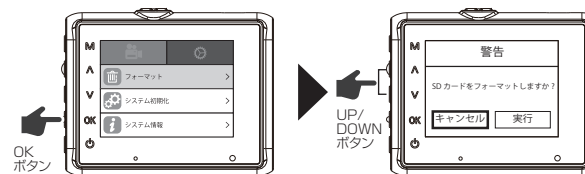
①設定画面表示「MENU」ボタンを 2 回押し設定メニューを表示します。

②もう一度「MENU」ボタンを押しシステム設定を表示し、「UP」/「DOWN」ボタンでフォーマットを検索します。



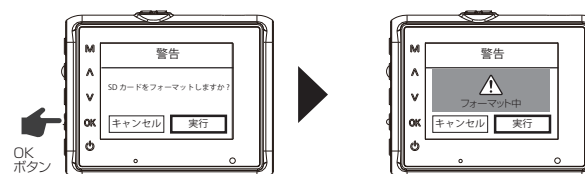
③フォーマットを選択し、「OK」ボタンで確定。

④フォーマット実行画面が表示したら「UP」/「DOWN」ボタンで実行を選択。



⑤実行を選択したら、「OK」ボタンで実行

⑥フォーマット終了です。



操作方法

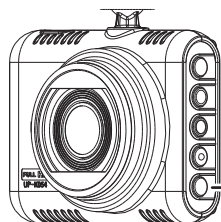
■ 電源オン

車両のエンジン始動（ACC オン）に連動して電源がオンします。

■ 電源オフ

車両のエンジン停止（ACC オフ）に連動して電源がオフになります。
エンジン始動時にオフにしたい場合は「電源」ボタンを長押し（3秒以上）します。

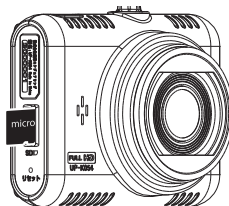
【本体側面】



電源ボタン
電源オン、オフ：3秒押し続ける

※エンジン停止（ACC オフ）後、約3秒間はデータ保存等の停止処理中です。この間にエンジンを再始動（ACC オン）した場合本体は起動しない場合があります。再度時間をおいてエンジン始動（ACC オン）または、エンジン起動状態で「電源」ボタンを長押し（3秒以上）して本体を起動してください。

本製品は、電源が入ったままで microSD カードを抜くと、本体が強制終了しますので、その際は再度 microSD カードを挿入し、「電源ボタン」を長押し（3秒以上）するか、エンジンを再始動（ACC オン）して下さい。

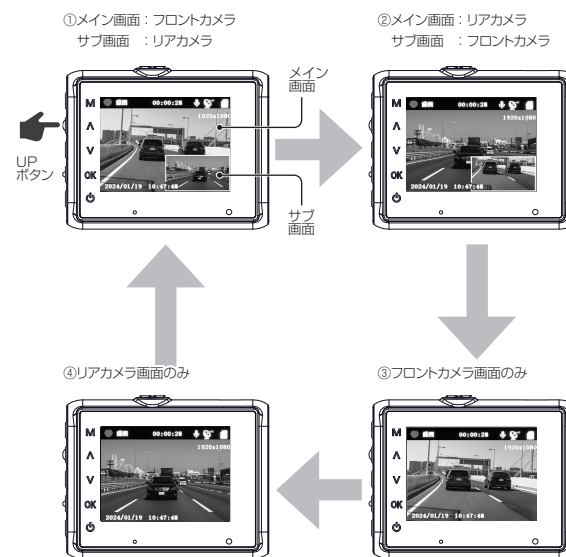


操作方法

■ 表示モードの切り替え

映像の表示には4つの表示モードがあります。表示モードの切り替えは本体横の「UP」ボタンを短押しする毎に①⇒②⇒③⇒④とフロントカメラ映像、リアカメラ映像の切替えが出来ます。

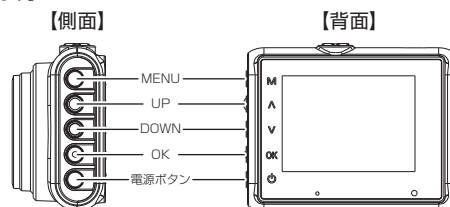
※サブ画面は別売のリアカメラを接続した場合のみ表示されます。



操作方法

本機の操作は側面の各ボタンを押して行います。

■ 画面表示

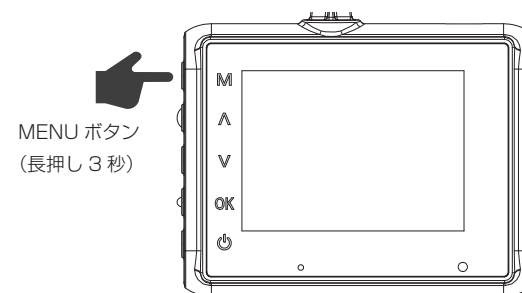


ボタン名称	操作	モード：動作
M (MENU)	短押し	録画 : 録画の停止 / 開始 設定 : メニュー画面の表示 / 終了 再生 : 前画面に戻る : 再生モードの終了
	長押し	ファイル再生 : 再生モードの表示 (録画停止時に操作可能)
^ (UP)	短押し	画面 : カメラ映像の表示切替え (リアカメラ接続時のみ) 設定 : 上移動 再生 : 録画リスト内のファイル送り : 再生画面の機能項目選択 (右回り)
	長押し	音声録音 : 録音の終了 / 開始
v (DOWN)	短押し	手動録画 : 録画の開始 設定 : 下移動 再生 : 録画リスト内のファイル戻し : 再生画面の機能項目選択 (左回り)
	短押し	録画 : 録画の停止 / 開始 設定 : 確定 再生 : ファイルの再生 / 停止 : 再生画面の機能項目操作
⏻ (電源)	短押し	画面 : 表示 / 非表示
	長押し	電源 : オフ / オン

操作方法

■ ファイルの再生

本機で録画した映像を確認できます。
再生画面は「MENU」または「OK」ボタンで、録画を停止させ、側面の「MENU」ボタンを長押しします。



*リアカメラ接続しない場合も表示されま
す。但し録画ファイ
ルは有りません。

※再生画面では、一定時間操作が無くても、自動では常時録画に移行されませんので、確認後は必ず「MENU」ボタンを押し、常時録画状態へ移行してください。

操作方法

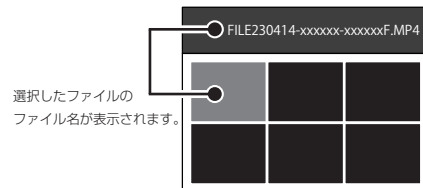
■ ファイルの再生

本機で録画したファイルを再生できます。録画を「MENU」または「OK」ボタンで停止し「MENU」ボタンを長押し(3秒以上)すると、映像の種類が表示されますので、再生したい映像の種類を選択し、「OK」ボタンを押します。

再生
フロントカメラ録画
リアカメラ録画
フロントカメライベント録画

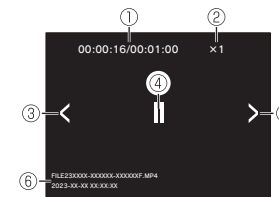
■ 録画ファイル選択

再生したいファイルを「UP」、「DOWN」ボタンで選択し「OK」ボタンを押します。



操作方法

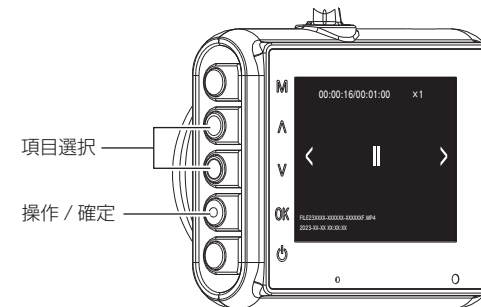
■ 再生画面名称



- ①ファイル再生時間
- ②再生速度：x1 / x2 / x4 / x8 / x16 / x32 / x64 / x128
- ③次のファイルへ移動
- ④一時停止 / 再生
- ⑤前のファイルへ移動
- ⑥ファイル名

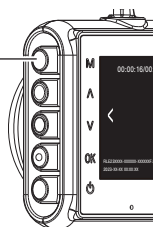
■ 再生画面操作

1. 再生画面では「 \wedge 」UP / 「 \vee 」DOWN ボタンで項目を選びます。「 \wedge 」UP ボタンを押した場合は、前のファイル→一時停止 / 再生→次のファイル→再生速度の順に選択されます。また選択中の項目は白表示から青表示に表示が変更されます
2. それぞれの項目は、表示が青色に変わったら、「OK」ボタンで操作します。



設定

MENU
ボタン



本機の設定を変更できます。
設定画面は「MENU」または「OK」
ボタンで録画を停止させ、さらに押す
ことにより表示します。

※設定画面、または録画の停止状態で、
一定時間操作が無い場合、自動で常
時録画に移行されます。

■ 設定メニュー（録画設定）

設定メニュー一覧から、変更する項目を「UP」、「DOWN」ボタンで選
び「OK」ボタンを押します。

録画設定



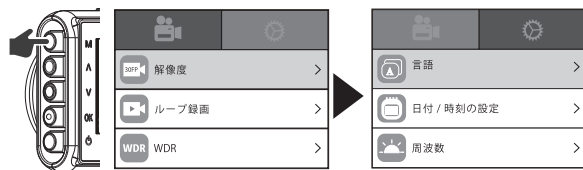
※別売のリアカメラを接
続した場合のみ表示さ
れます。

設定

- 解像度（初期設定：Full HD）
録画時の解像度：Full HD1920×1080P / HD1280×720P設定
- ループ録画（初期設定：1分）
1ファイルあたりの録画時間：1分/3分/5分設定
- WDR（初期設定：オン）
WDRセンサー：オン/オフ設定
- 日付スタンプ（初期設定：オン）
録画映像へ日時情報を記録：オン/オフ設定
- 音声録音（初期設定：オン）
録画中の音声録音：オン/オフ設定
- 音量（初期設定：中）
本体から出力する音声案内：ミュート/ボリューム3段階（低/中/高）
設定
- 操作音（初期設定：オン）
操作時のボタン音：オン/オフ設定
- 起動音（初期設定：オン）
本体起動時の音：オン/オフ設定
- Gセンサー（初期設定：中）
衝撃検知録画の感度：オフ/感度3段階（低/中/高）設定
- ※●前後画面表示（初期設定：オン）
PIP（ピクチャーインピクチャー）で前後2画面表示：オン/オフ設定
- ※●鏡像（初期設定：オフ）
リアカメラ録画映像の鏡像：オン/オフ設定
- ※別売のリアカメラを接続した場合のみ表示されます。

設定

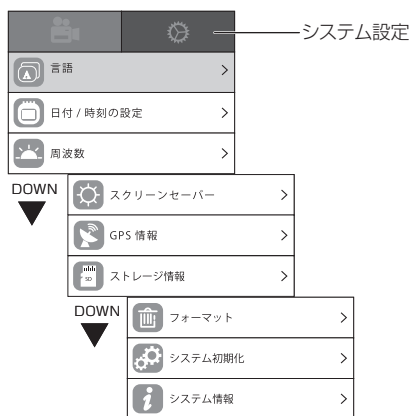
本機の設定を変更できます。
設定画面は「MENU」または「OK」ボタンで録画を停止させ、さらに押すことにより表示します。



設定メニュー→「MENU」ボタンを押しシステム設定画面に切り換えます。

■ 設定メニュー（システム設定）

設定メニュー一覧から、変更する項目を「UP」、「DOWN」ボタンで選び「OK」ボタンを押します。



設定

- 言語（初期設定：日本語）
画面表示する言語：日本語/English 設定
- 日付/時刻の設定
日付、時刻情報の変更。
- 周波数（初期設定：50Hz）
電源周波数地域変更：50Hz/60Hz 設定
- スクリーンセーバー（初期設定：オフ）
画面表示をオフにします。：オフ/3段階（1分/3分/5分）設定
- GPS情報
GPSの受信状況を確認できます。
- ストレージ情報
挿入されたmicroSDカードの容量を確認できます。
- フォーマット
microSDカードをフォーマットします。
- システム初期化
本体の設定項目の初期化及びmicroSDカードをフォーマットします。
- システム情報
本体システムのバージョン情報を確認できます。

LED 表示

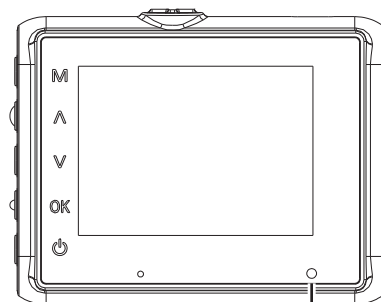
■ 録画動作

○ 点灯 ○ 点滅

LED	説明
○ 緑	常時録画、イベント録画中
○ 緑	録画停止中

■ その他動作

LED	説明
○ 緑	電源 ON(正常起動)
	SD カードエラー、SD カード未挿入、
	SD カードフォーマット時
	メニュー表示中



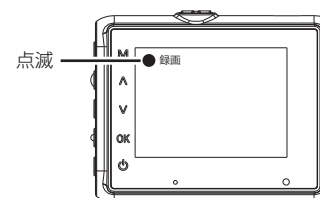
LED ランプ

録画方式

■ 常時録画

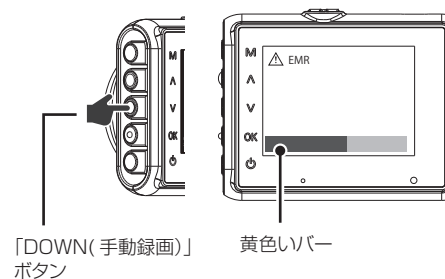
エンジン始動 (ACC オン) に連動して常時録画を開始します。

※常時録画容量がいっぱいになると古い録画ファイルから順次上書きされます。(⇒P.39)



■ イベント録画

常時録画中にGセンサーが衝撃を検知、または「DOWN(手動録画)」ボタンを押すとイベント録画ファイルを作成します。イベント録画時間は前5秒/後20秒間です。録画中は画面左上に「EMR」と文字がでて、画面下の黄色いバーが進みます。イベント録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。



「DOWN(手動録画)」ボタン

黄色いバー

録画方式

録画方式は常時録画、手動録画、衝撃検知録画があります。

- ファイル名について
ファイル種類 + 録画した年月日、時分秒の組み合わせで作成します。
※録画ファイル構成については(⇒P.40)をご確認ください。

FILEyyymmdd-hhmmss-xxxxxxF.MP4



1. 常時録画

本機はお車のエンジンを始動、またはACCがオンし、電源が入ると自動的に常時録画を開始します。開始は音声でお知らせします。

1つの録画ファイルは約60秒で作成されます。常時録画中は表示画面左上に赤い●が点滅します。

※音量設定がミュートのときは音声案内はありません。

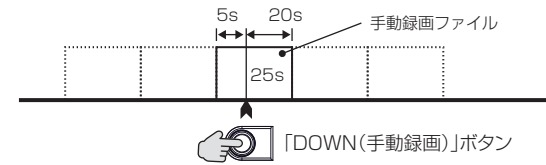


保存フォルダ : Normal
ファイル名 : FILE230414-xxxxxx-xxxxxxF.MP4

録画方式

2. 手動録画

常時録画中に「DOWN(手動録画)」ボタンを押すと、手動録画ファイルを作成します。ボタンが押されたタイミングから前5秒、後20秒、計25秒間を1つのファイルとします。手動録画中は表示画面下に黄色のバーが表示されます。手動録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。



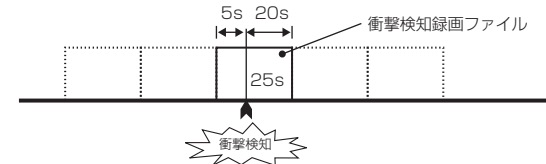
保存フォルダ : Event
ファイル名 : EMER230414-xxxxxx-xxxxxxF.MP4

3. 衝撃検知録画

常時録画中にGセンサーが衝撃を検知すると衝撃検知録画ファイルを作成します。

検知したタイミングから前5秒、後20秒、計25秒間を1つのファイルとします。衝撃検知録画中は表示画面下に黄色のバーが表示されます。衝撃検知録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

※衝撃検知録画中はボタン操作はできません。
※衝撃検知録画開始時に「ビビビビビ」和鳴ります。(音声案内はありません)

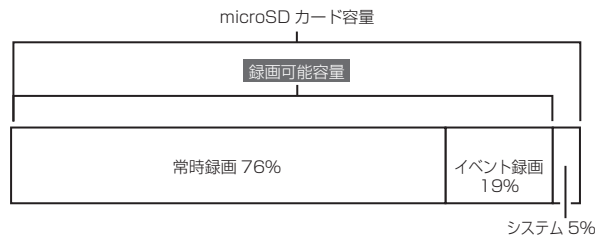


保存フォルダ : Event
ファイル名 : EMER230414-xxxxxx-xxxxxxF.MP4

録画可能容量について

- microSD カードに録画できる容量は、録画方式によってそれぞれの容量が決められています。microSD カードの容量から、システム予約を引いた残りが録画可能容量となります。
- 録画可能容量の約 76% が常時録画、約 19% がイベント録画、約 5% がシステムの容量となります。

※microSD カードの容量によって録画可能容量は変わります。



■microSD カード容量別録画時間

(フロントカメラ / リアカメラ : Full HD、1 ファイル 1 分の録画時間の場合)

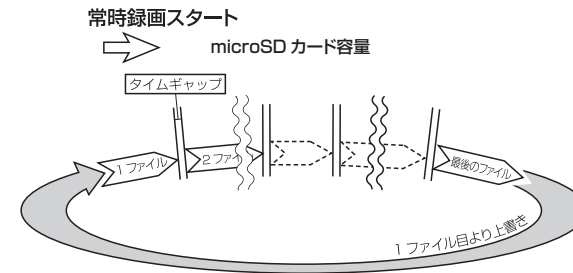
microSD カード容量	録画時間	
	常時録画	イベント録画 (手動録画 / 衝撃検知)
16GB	約 47 分	約 9 分
32GB	約 95 分	約 19 分
64GB	約 191 分	約 39 分
128GB	約 381 分	約 78 分

※各録画時間は映像の状況、録画環境によって変動しますので参考となります。
※イベント録画は手動録画と衝撃検知録画の合計です。

ファイル構成とタイムギャップ

■ ファイル構成

常時録画中は設定された時間毎に録画ファイルが作成されます。microSD カードの常時録画容量がいっぱいになった場合は、古いファイルから順次上書きされます。



- ※ 1ファイル分の録画時間に満たない状態で電源を切った場合には、その時点までのファイルが作成されます。
- ※ 大切なファイルは上書きされないよう、バックアップを作成してください。

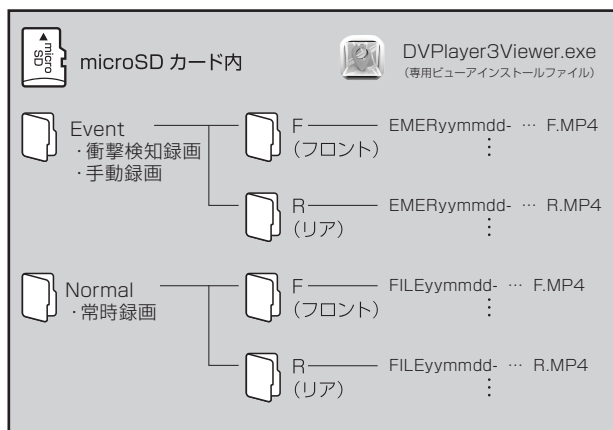
■ タイムギャップ

ファイルの録画完了から新しいファイルに録画を開始するまでにタイムギャップ（ファイル間の無録画時間）が発生します。タイムギャップ時のタイミングで衝撃が発生した場合、録画はできません。

※データ保存のためには電源を切り、本体画面が消えてから microSD カードを抜き取ってください。

microSD カード内の構成

■ 録画ファイル構成



※別売のリアカメラを接続 していなくても R (リア) のフォルダーは表示されます。

専用ビューア

ビューアソフトでは microSD カードに保存された映像と、走行した位置や G センサー情報の確認ができます。

本機で録画した映像は一般の動画再生プレーヤーでも再生できますが、走行位置や G センサー情報は表示されません。走行した位置を確認するには専用ビューアが必要です。

専用ビューアのダウンロードファイルは、本機に挿入した microSD カード内に自動的に作成されますが、慶洋エンジニアリングのホームページからもダウンロード可能です。

[<https://www.keiyoeng.co.jp/support/download/>]

※走行した位置を確認するにはインターネットの接続環境が必要です。接続していないときは地図が表示されません。

● 動作条件

対応 OS	Windows 10 (32bit/64bit) /11(64bit)
CPU	Intel Core i5 以上
GPU	DirectX 9.0c 以上が動作すること
メモリー	4GB 以上
HDD 空き容量	4GB 以上
ディスプレイ	WXGA (1280×768) 以上
サウンド	Windows で動作可能な再生機能
その他	・インターネット接続環境 ・microSDHC/SDXC カードを接続可能なメモリーカードリーダー、ライター

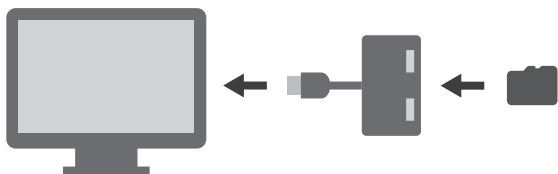
※条件を満たしたすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

※お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

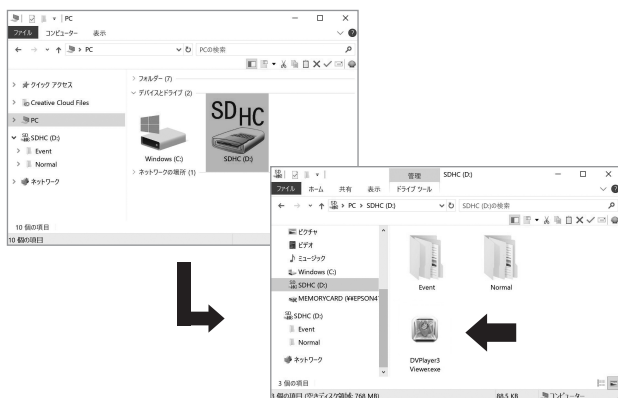
専用ビューア

■ 専用ビューアをインストールする

1. パソコンに SD カードリーダーライターを接続します。
※ 使用方法はリーダーライターの取扱説明書をご確認ください
※ パソコンに直接 SD カードを接続できる場合はリーダーライターは必要ありません。



2. SD カードリーダーライターに microSD カードを挿入します。
※ 必要に応じて同梱の SD カードアダプターを使用してください。
3. リムーバブルディスクを開き、ダウンロードファイルをダブルクリックし、PC のガイダンスに従い、インストールします。



専用ビューア

■ 専用ビューアをインストールする

4. ファイルをダウンロード後、セットアップウィザードが表示されますので、内容を確認して「次へ」をクリックします。以降は画面の指示に従い、インストールを進めます。



5. インストールが終わるとパソコンのデスクトップにショートカットアイコンが作成されます。



専用ビューア

■ 専用ビューアをインストールする

1. ビューアソフトは、慶洋エンジニアリングのホームページからダウンロードします。

ダウンロード URL
「 <https://www.keiyoeng.co.jp/support/download/> 」



ダウンロードファイル

DVPlayer3.msi

2. 「DVPlayer3.msi」をダブルクリックします。
※ダウンロードしたファイルが圧縮されている場合は展開してください。



ビューアソフト インストールパッケージ

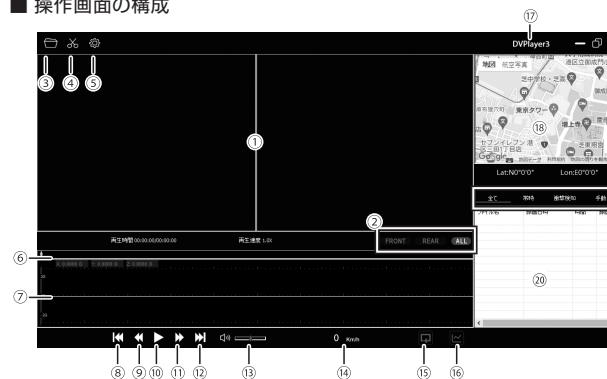
DVPlayer3.msi

※製品毎にビューアソフトは異なりますので、製品番号をご確認の上ダウンロードをお願いします。

3. インストール方法は、(⇒P.43)の4.と同様です。

専用ビューア

■ 操作画面の構成



- ① **再生画面**
ファイルを再生すると映像が表示されます。
- ② **カメラ切り替え**
再生画面に表示するカメラ映像を切り替えます。
FRONT：フロントカメラ、REAR：リアカメラ、ALL：同時表示
- ③ **ファイルの読み込み**
プレイリストに表示するファイルを選択します。(⇒P.48)
- ④ **画像の切り取り**
ビューアに表示されている映像を画像として保存します。(⇒P.50)
- ⑤ **設定**
マップ、言語を設定します。
- ⑥ **再生位置**
ファイルの再生箇所を表示します。
- ⑦ **G センサーグラフ**
G センサーが記録したデータを表示します。
- ⑧ **前のファイル**
プレイリストで選択されている前のファイルを再生します。

専用ビューア

■ 操作画面の構成 (つづき)

- ⑨. **再生速度を遅く**
クリックする度に再生速度が遅くなります。
- ⑩. **再生 / 一時停止**
プレイリストで選択されているファイルを再生します。
- ⑪. **再生速度を速く**
クリックする度に再生速度が速くなります。
- ⑫. **次のファイル**
プレイリストで選択されている次のファイルを再生します。
- ⑬. **音量**
スピーカーアイコンをクリックするとミュート (消音) します。
バーをクリックしたまま左右操作で再生音量を調整します。
- ⑭. **速度表示**
GPS 信号から算出した速度を表示します。
ダブルクリックでキロメートル毎時/マイル毎時を切り替えます。
※実際の速度とは異なることがあります。
- ⑮. **連続再生**
プレイリストの順番に再生され、最後のファイルを再生するともう一度最初から再生します。
- ⑯. **G センサーグラフ表示の切り替え**
G センサーグラフの表示 / 非表示を切り替えます。
- ⑰. **バージョン情報**
ビューア名 (DVPlayer3) をクリックすると、バージョンを表示します。

専用ビューア

■ 操作画面の構成 (つづき)

- ⑱. **走行位置表示**
インターネットの地図上に走行位置を表示します。
※インターネットの接続環境が必要です。接続していないときは表示されません。
※GPS 衛星からの信号の受信状況によって、実際に走行した位置と地図上の位置にズレが生じたり、正しく表示されない場合があります。
※位置情報が記録されていないファイルを再生した場合は表示されません。GPS 信号受信についての注意事項は P.12 をご確認ください。
- ⑲. **録画方式の選択**
プレイリストに表示されるファイルを録画方式別に表示します。
全て : 全てのファイル
常時 : 常時録画ファイル
衝撃検知 : 衝撃検知録画 / 駐車監視録画ファイル
手動 : 手動録画ファイル
- ⑳. **プレイリスト**
読み込んだファイルが表示されます。
※プレイリストにはフロントカメラのデータのみ表示されます。

専用ビューア

■ 動画の再生

本機で録画した映像を専用ビューアを使い再生します。

1. ドライブレコーダー本体から抜いた microSD カードを、付属の SD カードアダプターやカードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. デスクトップの「DVPlayer3」のショートカットアイコンをダブルクリックして、専用ビューアを起動させます。



← ビューアソフト
ショートカットアイコン

3. 左上の「ファイルの読み込み」をクリックします。



専用ビューア

4. ダイアログが表示されますので、読み込むメディアを選択します。



デフォルトでは「ディスク」が選択されています。
右のプルダウンから microSD カードのドライブを選択して「OK」をクリックします。



※ドライブのアルファベットは
ご使用の環境により異なります。

↑ microSD カードのドライブを選択

5. microSD カード内のファイルが読み込まれます。
ビューアのプレイリスト内にファイルが表示されますので、再生したいファイルを選択して、再生をクリックします。

● ファイル、またはフォルダを指定して読み込む場合

1. 「ファイルの読み込み」をクリックして表示されるダイアログ内で、「ファイル」または「フォルダ」を選択して、右側の「…」をクリックします。
2. microSD カードやパソコン内から、読み込むファイル、またはフォルダを指定し「OK」をクリックします。

専用ビューア

■ 画像の切り取り

ビューアに表示されている画面を画像として保存します。

1. 再生中、または一時停止中に「画像の切り取り」をクリックするとダイアログが表示されます。



2. 保存先を決め、ファイル名を入力します。
ファイルの種類を選択して、保存をクリックします。



専用ビューア

■ バージョンの確認

ビューアタイトルをクリックするとバージョン情報が表示されます。

■ アップデートする

専用ビューアの更新時にはホームページ上でお知らせいたします。

慶洋エンジニアリングのホームページ
<https://www.keiyoeng.co.jp/>

製品仕様

カメラ	センサー	CMOS センサー約 200 万画素
	レンズ画角	水平 115°/ 垂直 60°/ 対角 145° F 値 : 1.8
	最大記録画角	水平 113°/ 垂直 58°/ 対角 137°
録画サイズ	Full HD (1920×1080P) / HD(1280×720P)	
フレームレート	24fps	
録画ファイル	常時録画 / 手動録画 / 衝撃検知録画	
録画時間	常時録画 : 1 分 / 3 分 / 5 分 手動録画 / 衝撃検知録画 : 25 秒 (前 5 秒 / 後 20 秒)	
画面サイズ	2.4 インチ液晶モニター	
音声録音	有り(オン / オフ切替可能)	
GPS アンテナ	有り(内蔵タイプ・みちびき対応)	
G センサー(衝撃検知)	有り(オフ、及び 低 / 中 / 高 3 段階レベル調整)	
メモリーカード	microSDHC カード 16GB~32GB TLC Class 10 以上 microSDXC カード 64GB~128GB TLC Class 10 以上	
消費電流	DC12V : 約 250mA/ 最大 1000mA DC24V : 約 140mA/ 最大 480mA DC12V : 約 400mA/ 最大 1050mA DC24V : 約 210mA/ 最大 520mA ※オプションリアカメラ接続時	
サイズ	約 77.3(W)×34.0(D)×99.9(H)mm(ブラケット含む)	
質量	約 99g (ブラケット含む)	
録画方式	MP4 (H.264)	
動作温度範囲	-10℃~+65℃	
同梱品	ドライブレコーダー本体、電源ケーブル(直接配線 4.5m)、microSD カード(16GB)、交換用画面テープ、取扱説明書(保証書付)	

52

MEMO

53

保証書

■ 保証規定

- 取扱説明書の注意書に基づきお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障個所の修理をさせていただきますので、お買い上げ販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
- 海外で使用された場合、あるいは不当な改造については当社は一切の責任を負わないものとします。
- 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、取り付け、取り外し費用及び諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書に保証期間、品名、販売店、お買い上げ日の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損害の場合。
 - お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および損傷。
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災事変、事故、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
 - 正常なご使用方法でも消耗品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
- ご不明の点は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only Japan.)

保証書 (書き込み欄)

持ち込み修理

本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上お買い上げの販売店、または株式会社アプティに修理をご依頼ください。本書の再発行は行いませんので、紛失しないように大切に保管してください。
※microSDカードは消耗品のため、保証の対象外です。

品名	ドライブレコーダー
機種名	UP-K054
保証期間	お買い上げ日より3年間(本体)
	お買い上げ日： 年 月 日
販売店	店名
	住所
	電話

ご販売店様へ

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡ししてください。

販売元 株式会社アプティ
〒153-0043 東京都目黒区東山1-5-4 KDX 中目黒ビル 2F
TEL : **03-6774-0191**

製造元 株式会社慶洋エンジニアリング
〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1 第3長谷川ビル 5F
お客様サービスセンター
TEL : **03-3431-8194**
受付時間 月曜日～金曜日(平日のみ) 10:00～12:00/13:00～16:00